■アニメ『サザエさん』はなぜ、いまも続いているのか？

いまやありえない「3世代同居、総勢7人」の大家族

日本一の長寿アニメといえば『サザエさん』だ。2008年で、なんと放送開始40年目を迎え、いまも続いている。そして、その人気は衰えない。

しかし、こんな大家族で暮らす家は、いまの日本にはほとんどない。とくに、大都市とその近郊には、まったくといってないだろう。なにしろサザエさん一家（＝磯野家）は、3世代同居、総勢7人（+猫1匹）という大家族である。

サザエさん一家は、いまの日本社会の特徴である「高齢化」「少子化」とも、まったく無縁。さらに、「格差社会」とも、「不況」も、まったく無縁である。

ちなみに、その家族構成を記すと、父・波平（59歳）、母・舟（54歳）に、弟・カツオ（11歳）、妹・ワカメ（9歳）。夫・フグ田マスオ（28歳）にサザエ（24歳）、息子・タラオ（3歳）となる。

この一家は永遠に年をとらない。つまり、父・波平氏は、永遠に定年退職しない。また、マスオさんも正社員として永遠に平のサラリーマン。母・舟さんもサザエさんも2人とも永遠の専業主婦。3人の子どもたちも、永遠に子どものままだ。

『サザエさん』の人気のお秘密は、大家族にあるのはもちろんだが、最大の点は、この一家（磯野家）が、いつも家族全員で食卓を囲み、そのときどきの話題をみんなで話し合うことにあると思う。

つまり、「家族っていいな」である。

いまの日本の深刻な問題は、家族の消滅だ。サザエさん一家とはいかないまでも、4人、5人という家族はほとんどいない。モデル家庭とされる「夫婦に子ども2人」の家庭すら、少子化で少なくなっている。そして、サザエさんのような専業主婦など、もう絶滅種である。

「西暦3300年には、日本人は1人もいなくなる」

前回書いたように、日本女性は、この20年間の不況とグローバル化で、家庭から職場にかり出され、低賃金で働かされたあげく、子どもつくれなくなってしまった。現在、少子化対策としていろいろな手が打たれているが、日本の家庭を復活させないかぎり、なにをやってもダメだろう。

少子化が進むと、経済は衰退する。そして、経済の衰退で、さらに少子化が進む。この悪循環は、どうやったら断ち切れるのかわからない。

「西暦3300年には、日本人は1人もいなくなる」という衝撃的な未来予測がある。これは、現在の少子化の進行をそのまま将来に拡大していったらどうなるか——というところから、単純に導き出される結論だ。

社団法人エイジング総合研究センターが2006年2月に発表した人口推計では、2050年の日本の人口は、なんと8833万人まで落ち込むとされている。

はたして、このとき、日本の家庭はどんな状況にあるのだろうか？

いまや日本の世帯で最も多いのは「たった1人の世帯」

国勢調査によると、日本の世帯数の推移は以下のとおりである。

1980年（昭和55年）——3582万4000（うち単独世帯710万5000）
1985年（昭和60年）——3798万（同789万5000）
1990年（平成2年）——4067万（同938万9000）
1995年（平成7年）——4390万（同1123万9000）
2000年（平成12年）——4678万2000（同1291万1000）
2005年（平成17年）——4906万2000（同1445万7000）

（2005年に関しては第1次集計結果）

つまり、世帯数は増加している。しかし、その中身はというと、驚くべきことになっている。世帯当たりの人数がどんどん減っているのだ。2005年時点で「1世帯当りの平均人員は2.67」である。これは、単なる平均値だから、こうした世帯が、日本の平均的な世帯であることを示してはいない。いまや、日本の世帯で最も多いのは、なんと「たった1人の世帯」である。

以下が、日本の世帯の内訳である。

1人世帯——1445万7000
2人世帯——1302万3000
3人世帯——919万 6000
4人世帯——770万7000
5人以上の世帯——467万8000

（数字は2005年「国勢調査」第1次集計

結果より）

ちなみに、現在、どんな世帯が日本にあるのかを示してみると、以下のようなになる。

- 「単独世帯」 = (1人世帯) 独身者1人だけの世帯
- 「夫婦のみの世帯」 = (2人世帯) 夫婦だけの世帯
- 「核家族世帯」 = (3人世帯) 夫婦に子ども1人だけの世帯
- 「夫婦と未婚の子のみの世帯」 = (3人～それ以上世帯)
- 「片親と未婚の子のみの世帯」 = (2人～それ以上世帯)
- 「3世代世帯」 = (3人～それ以上世帯) 構成はさまざま
- 「その他の世帯」 = (4人～それ以上世帯) 構成はさまざま

日本が女性差別を続けてきた結果が、この数字だと考えると、末恐ろしくなる。いずれにせよ、サザエさん一家は「いまは昔」の物語。長寿アニメは、家族への郷愁で続いていると言うしかない。